

事項	「青森シャモロック」の歯ごたえや旨味成分等を高める生産技術														
ねらい	従来の「青森シャモロック」に満足しないこだわりの強い地鶏購買層への消費拡大を推進するため、飼育期間の延長や専用飼料の給与により歯ごたえや旨味成分等を高める生産技術を確立したので普及に移す。														
普及する内容	<p>1 生産方法</p> <p>(1) 本技術の対象鶏：青森シャモロック雄（標準的な発育、外見的に傷等がないもの）</p> <p>(2) 飼育方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 齢</th> <th>0～27日齢</th> <th>28～100日齢</th> <th>101～130日齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与飼料</td> <td>青森シャモロック前期 (CP:21、ME:3,100kcal 以上)</td> <td>青森シャモロック後期 (CP:16、ME:2,900kcal 以上)</td> <td>専用飼料 (CP:26、ME:2,950kcal 以上)</td> </tr> <tr> <td>飼育密度</td> <td>1㎡当たり5羽以下</td> <td>1㎡当たり5羽以下</td> <td>1㎡当たり3羽以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 CP、MEは成分保証値 2 専用飼料：プレミアA（日和産業株式会社製） 3 0～100日齢までの飼育は「青森シャモロック生産管理マニュアル」平成23年5月版に従うが、この間のガーリック粉末給与は省略できる。</p> <p>2 発育成績及び肉質成績</p> <p>青森シャモロックの雄の飼育期間を30日延長し、延長期間の飼育密度を1㎡当たり3羽以下として専用飼料を給与して飼育（特別飼育）することで、通常のシャモロックと比べて歯ごたえと旨味が増した上位ブランドの青森シャモロックの生産が可能である。</p> <p>(1) 体重は約4.0kg（現地実証）となり、約1kg増加する。 (2) 歯ごたえの指標となるせん断力価は、30%以上向上する。 (3) 鶏肉中のグルタミン酸は10%以上増加する。 (4) 鶏肉中のα-リノレン酸は2倍以上に増加する。</p> <p>3 経営経済的効果</p> <p>飼育期間が延びて生産コストが増加するものの、生産体重が増加し、肉質も向上するため、販売価格を通常より高く設定することができる。そのため、年間1,000羽の経営の場合、そのうちの300羽を特別飼育とすることで所得が約18万円増加する。</p>			日 齢	0～27日齢	28～100日齢	101～130日齢	給与飼料	青森シャモロック前期 (CP:21、ME:3,100kcal 以上)	青森シャモロック後期 (CP:16、ME:2,900kcal 以上)	専用飼料 (CP:26、ME:2,950kcal 以上)	飼育密度	1㎡当たり5羽以下	1㎡当たり5羽以下	1㎡当たり3羽以下
日 齢	0～27日齢	28～100日齢	101～130日齢												
給与飼料	青森シャモロック前期 (CP:21、ME:3,100kcal 以上)	青森シャモロック後期 (CP:16、ME:2,900kcal 以上)	専用飼料 (CP:26、ME:2,950kcal 以上)												
飼育密度	1㎡当たり5羽以下	1㎡当たり5羽以下	1㎡当たり3羽以下												
期待される効果	こだわりのある地鶏肉購買層に、より訴求力のある青森シャモロックの生産が可能となることから、青森シャモロックのニーズの裾野が広がり、青森シャモロックの販売促進が期待できる。														
普及上の注意事項	<p>1 本技術による青森シャモロックの生産については、青森シャモロック生産管理マニュアルへの反映と青森シャモロックブランド化推進協議会での承認が必要である。</p> <p>2 生産・販売に際し、商品タグを付ける等、通常の青森シャモロックとの仕分けを明確にする必要がある。</p>														
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 中小家畜・シャモロック部 (0175-64-2231)	対象地域	県下全域												
発表文献等	平成27年度東北農業試験成績・計画概要書														

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 発育及び肉質成績（所内試験）（平成27年 青森畜産研）

区分	100日齢 体重(kg)	130日齢 体重(kg)	飼料要求率	せん断力価 (kg/f)	グルタミン酸 (μg/g)	アラキドン酸 (mg/g)	α-リノレン酸 (mg/g)
対照区	3.71 <sup>b</sup>	-	-	1.3 <sup>b</sup>	108.2	0.060	0.001 <sup>b</sup>
A飼料区	3.82	4.55 <sup>a</sup>	8.36	1.8 <sup>a</sup>	124.6	0.065	0.005 <sup>a</sup>

(注) 1 縦列（体重は100日齢の対照区と130日齢の試験区）異符号間に有意差有（p<0.05）  
2 A飼料区は専用資料（プレミアムA）を101～130日齢まで給与

表 2 発育及び肉質成績（現地実証試験）（平成27年 青森畜産研）

区分	100日齢 体重(kg)	130日齢 体重(kg)	飼料要求率	せん断力価 (kg/f)	グルタミン酸 (μg/g)	アラキドン酸 (mg/g)	α-リノレン酸 (mg/g)
対照区	3.02 <sup>b</sup>	-	-	1.6 <sup>b</sup>	137.0 <sup>b</sup>	0.104	0.07
A飼料区	3.01	4.08 <sup>a</sup>	4.07	2.2 <sup>a</sup>	219.7 <sup>a</sup>	0.102	0.18

(注) 1 縦列（体重は100日齢の対照区と130日齢の試験区）異符号間に有意差有（p<0.05）  
2 A飼料区は専用資料（プレミアムA）を101～130日齢まで給与

表 3 経営試算（1,000羽当たり）（平成27年 青森畜産研）

区 分		①通常経営	②通常+特別飼育経営	増減②-①
内 訳	通常飼育青森シャモロック	1,000羽	700羽	-
	特別飼育青森シャモロック		300羽	
粗 収 益		3,118,500円	3,519,713円	401,213円
経 営 費		2,340,917円	2,563,897円	222,980円
所 得		777,583円	955,816円	178,233円

(注) 1 主要作物の技術・経営指標（平成27年度）をもとに算出  
2 通常飼育の青森シャモロック：3,500円/羽、特別飼育の青森シャモロック：5,000円/羽として試算

【参考】特別飼育青森シャモロックの評価（通常飼育の青森シャモロックとの比較）

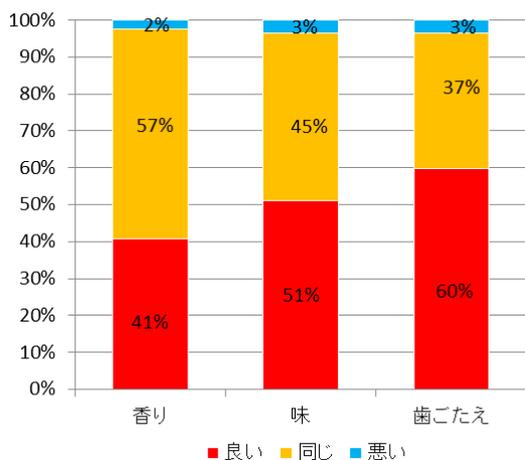


図 1 食味アンケート結果  
（平成27年 青森畜産研）

(注) 六戸町産業まつりで実施  
（平成27年10月31日～11月1日）

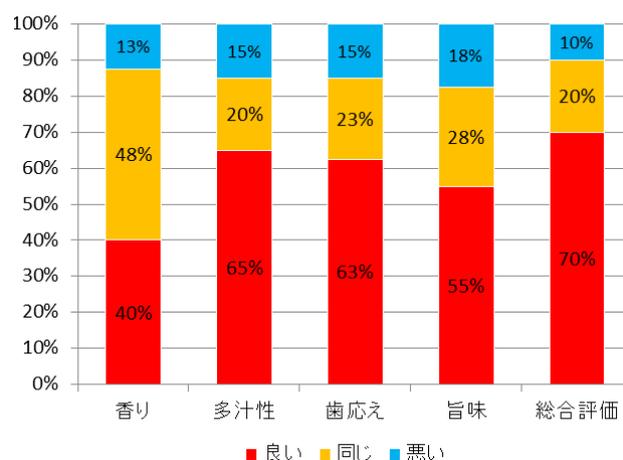


図 2 食味検討会での評価結果  
（平成27年 青森畜産研）

(注) 首都圏の地鶏専門店で開催  
（平成28年1月6日）